

新型コロナウイルス感染症の影響(介護予防日常生活ニーズ調査から)

新型コロナウイルス感染症の蔓延前後において、高齢者の意識にどのような変化がみられたか
経済状況、日常生活、地域とのつながり、介護予防、各種リスクについてそれぞれ比較しました。

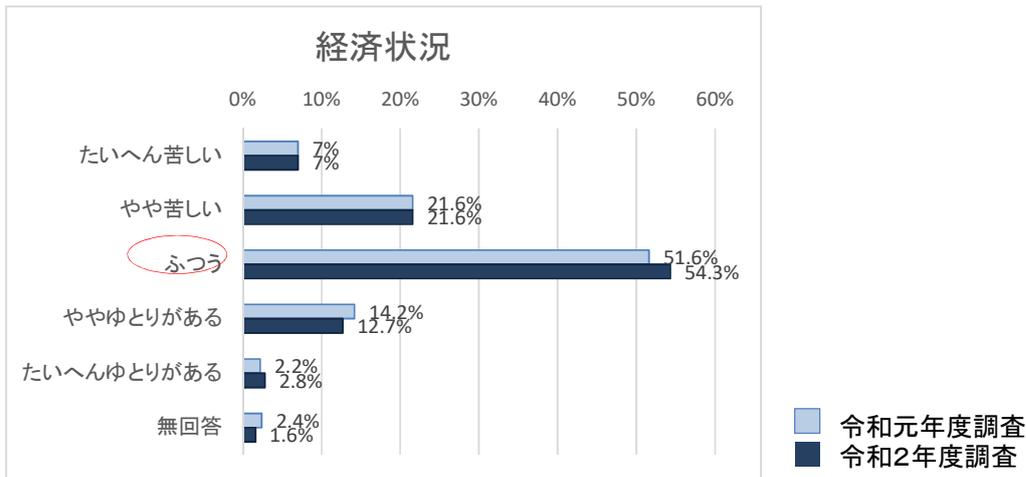
分析データ:豊島区に在住している65歳以上高齢者で要介護1～5の認定を受けていない方

	調査期間	送付数	回収数
令和元年度	令和元年11月～12月	4,500	2,914
令和2年度	令和2年11月～12月	3,000	2,093

1. 経済状況 あなたの現在の暮らし状況を経済的にみてどう感じていますか。

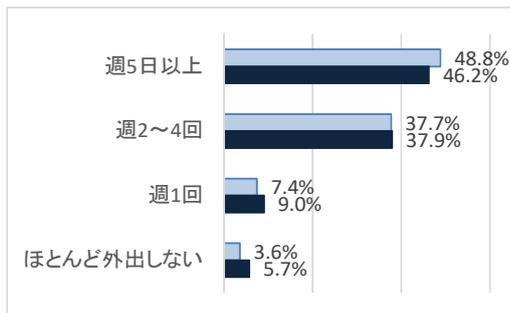
「大変苦しい」「やや苦しい」に変化はありませんでした。

「ややゆとりがある」方は1.5%減少し、「たいへんゆとりがある」方は0.6%、「ふつう」が2.7%増加しました。

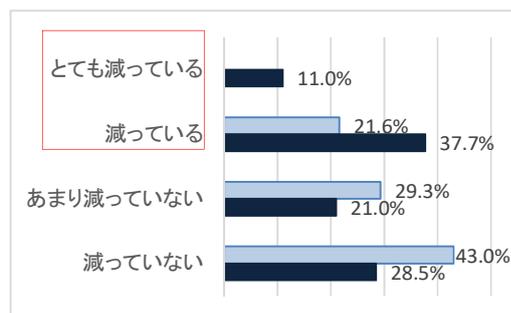


2. 毎日の生活について

①週に1回以上は外出していますか。

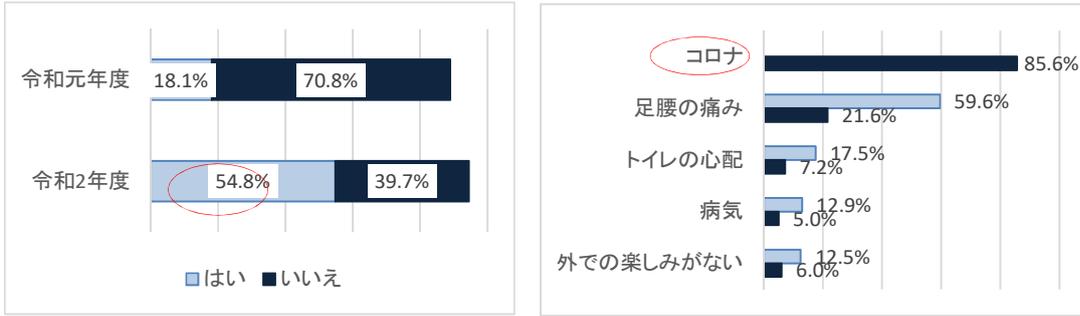


②去年と比べて外出の回数が減っていますか。



外出の頻度について、「週5日以上」の外出の割合が減少し、「週1回」「ほとんど外出しない」割合が増加しました。また、去年と比べて「外出がとても減っている」「減っている」と答えた割合が、令和元年と比較して令和2年は27.1%増加しました。

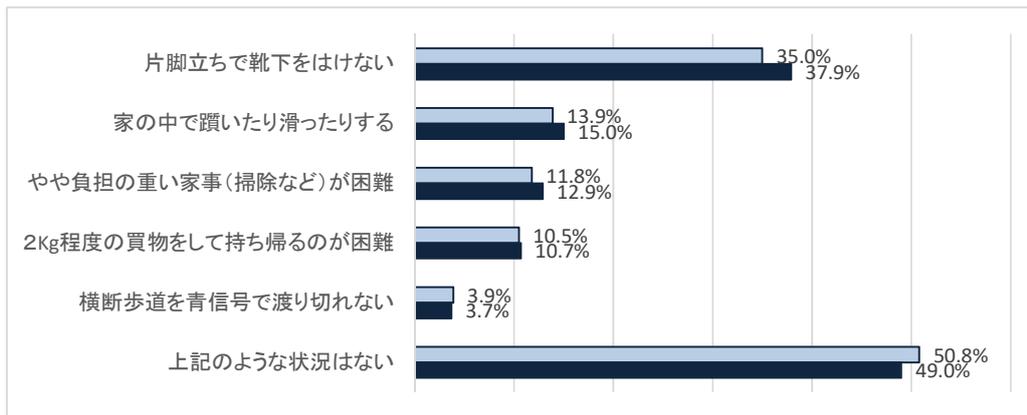
③外出を控えていますか。また控えている理由は何ですか



「外出を控えている」と答えた割合も36.7%増加しました。コロナの影響と答えた人が85.6%でした。

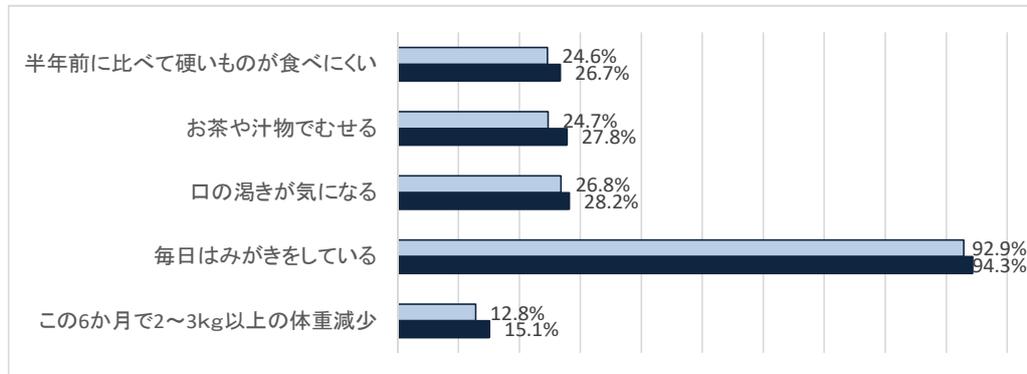
3.日常生活において困難なこと

「片脚立ちで靴下をはけない」が大きく増加しました。



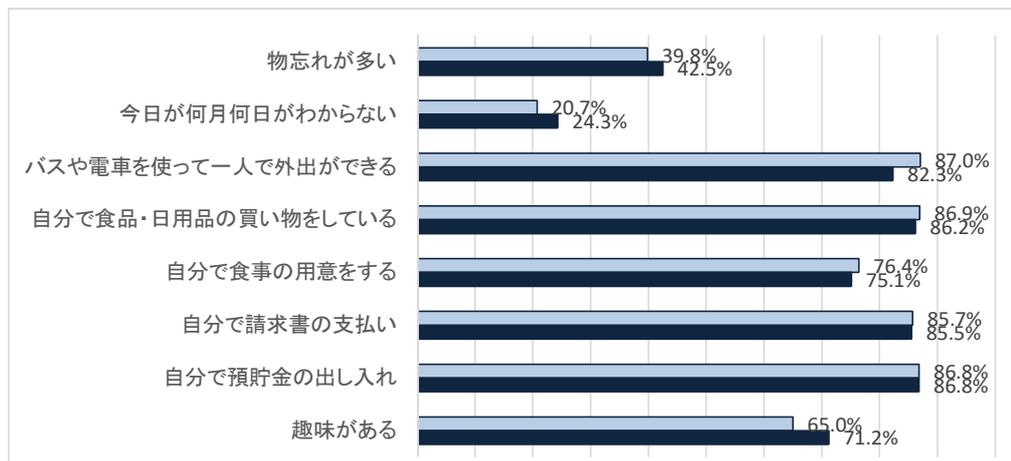
4.食事・栄養(はいと回答した割合)

すべての項目で令和2年度の割合が増加しました。



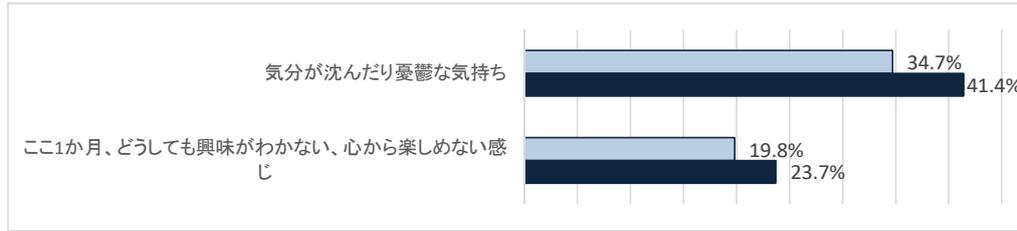
5.日常生活(はいと回答した割合)

「趣味がある」が6.2%、「今日が何月何日かわからない」が3.7%、「物忘れが多い」2.7%それぞれ増加しました。バスや電車を使って一人で外出ができる」割合が、4.7%減少しました。



6.心の状況(はいと回答した割合)

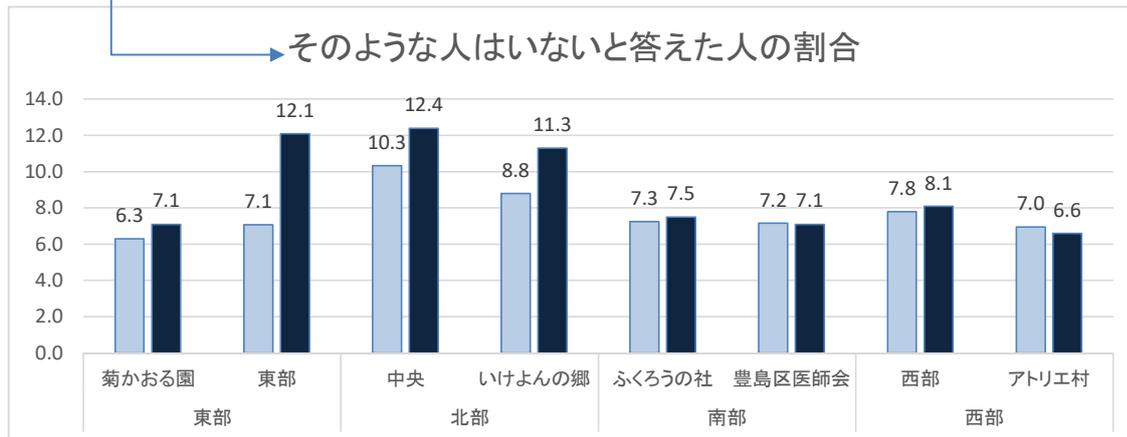
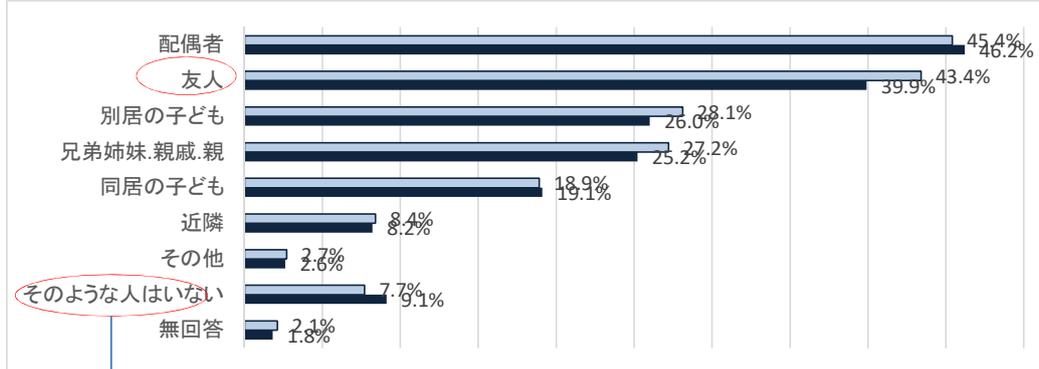
「気分が沈む」「心から楽しめない」と回答する割合が、それぞれ増加しました。



7.地域とのつながり

(1)たすけあいの状況 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか

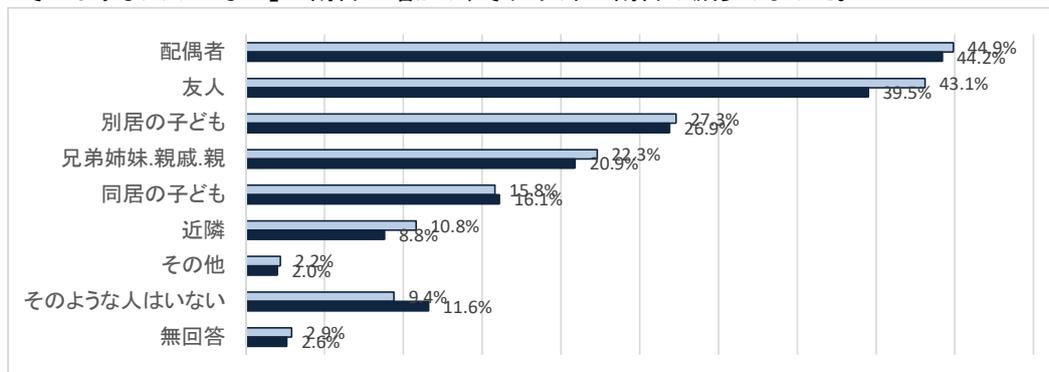
「配偶者」「そのような人はいない」の割合が増加し「友人」「別居の子ども」「親戚」の割合が減少しました。



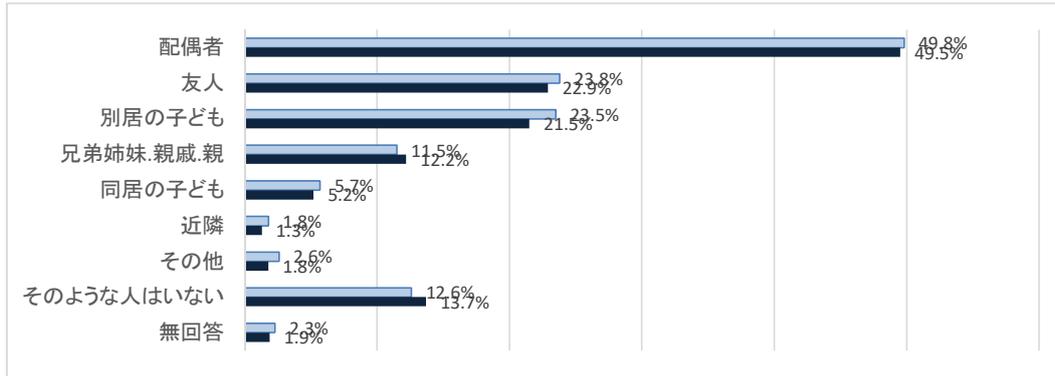
圏域別で比較すると、東部、中央、いけよんの郷の包括圏域で割合が増加しました。

(2)反対にあなたが、心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか。

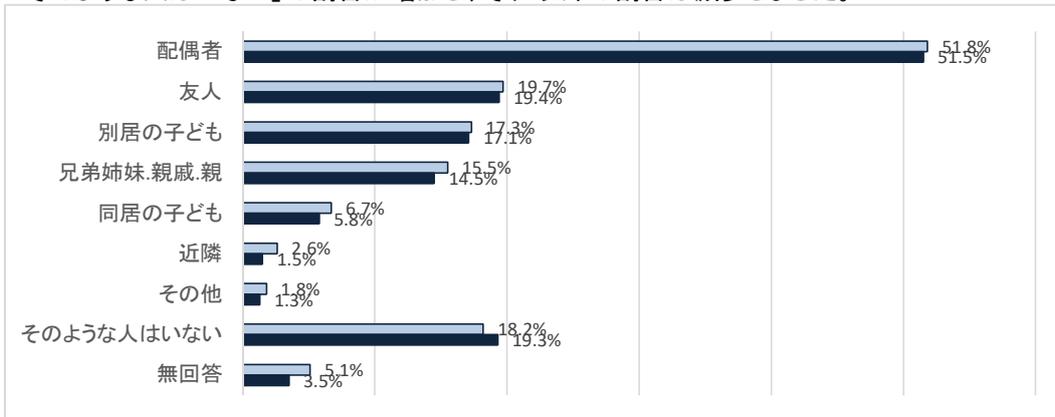
「そのような人はいない」の割合が増加し、それ以外の割合は減少しました。



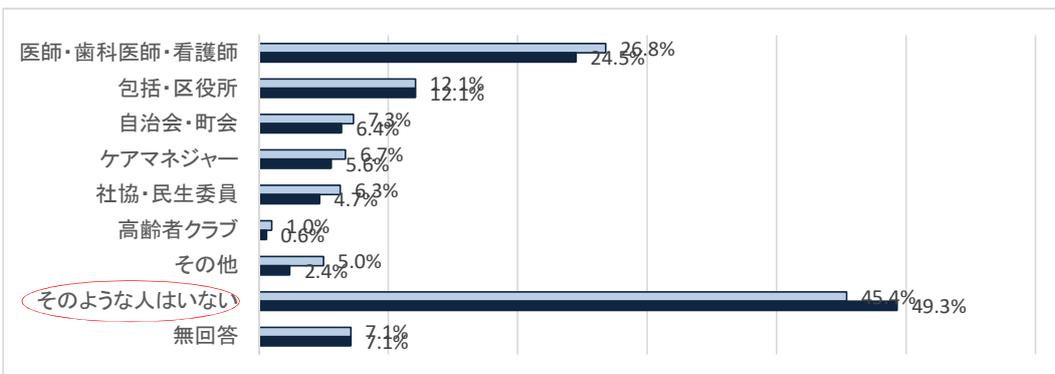
(3)あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
「兄弟姉妹・親戚」「そのような人はいない」の割合が増加し、それ以外の割合は減少しました。



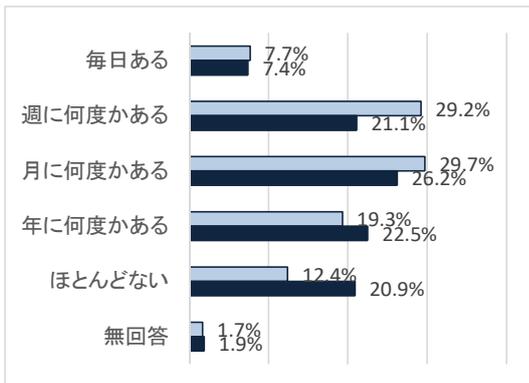
(4)反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。
「そのような人はいない」の割合が増加し、それ以外の割合は減少しました。



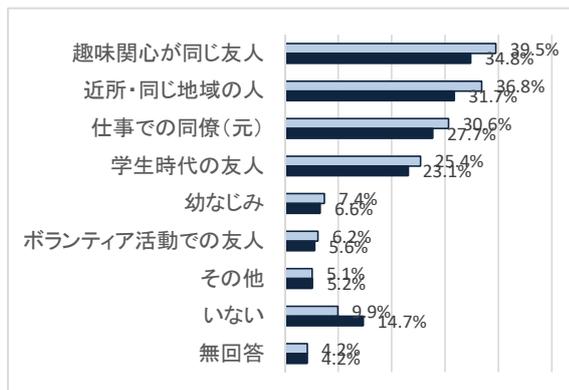
(5)何かあったときの相談先
「包括・区役所」以外の割合が減少し、「そのような人がいない」の割合が大きく増加しました。



(6)友人・知人と会う頻度



(7)よく合う友人知人はどんな関係ですか

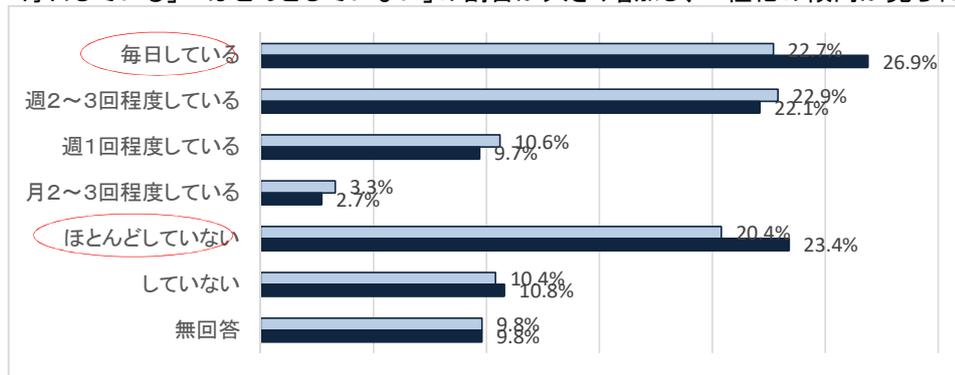


「週に何度か」「月に何度か」が減少し、「年に何度か」「ほとんどない」が増加しました。

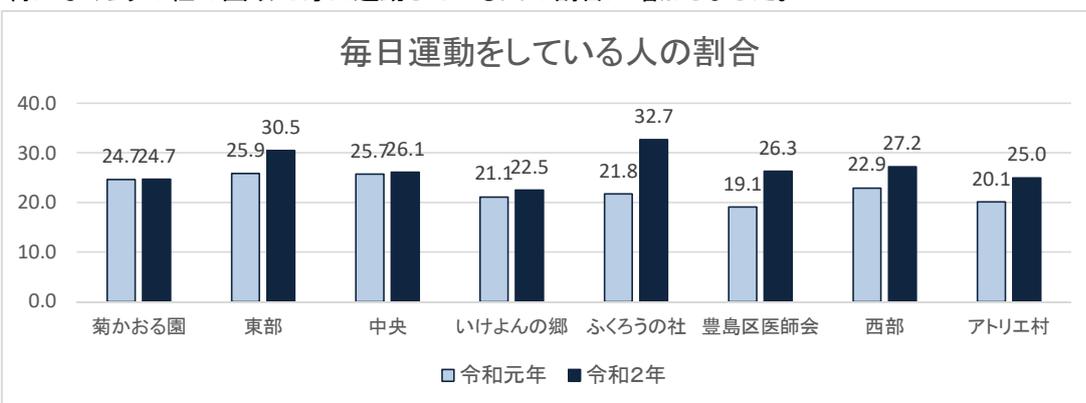
7. 介護予防について

(1)あなたは日ごろ運動していますか

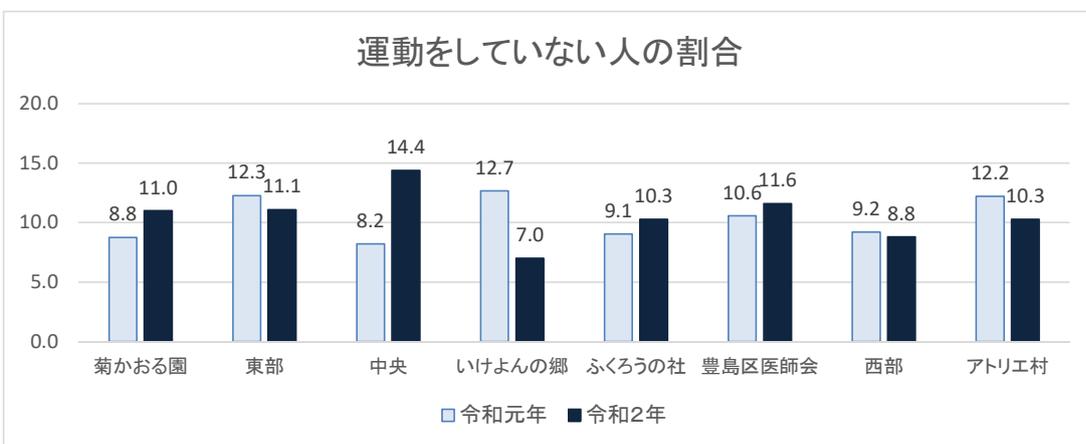
「毎日している」「ほとんどしていない」の割合が大きく増加し、二極化の傾向が見られます。



特にふくろうの杜の圏域で毎日運動している人の割合が増加しました。

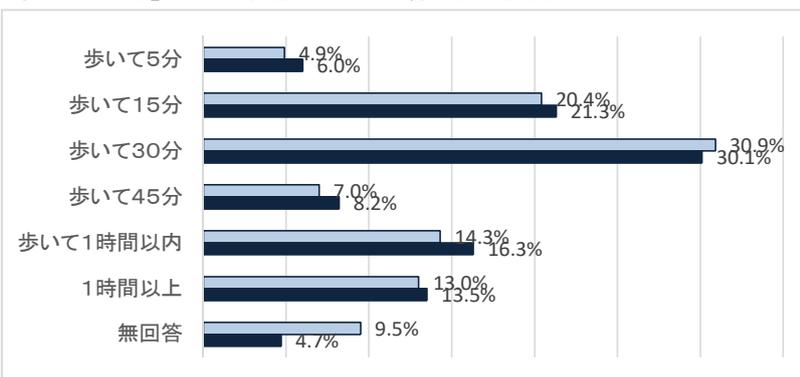


中央包括の圏域で、運動をしていない人の割合が大きく増加しました。

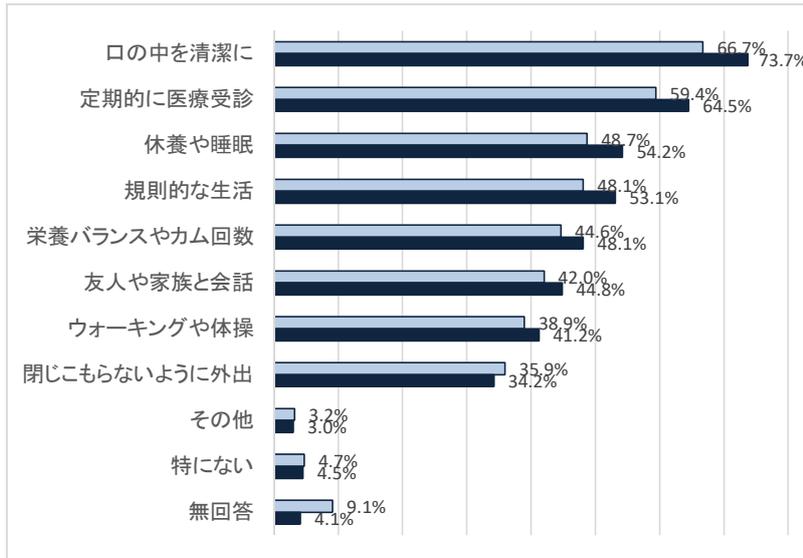


(2)あなたは普段、どのくらいの範囲まで歩いて出かけますか。

「歩いて30分」以外の項目がすべて増加しました。



(3)あなたは健康や介護予防、認知症予防のために普段から活動しているものはありますか。
「閉じこもらないよう外出」以外の活動の割合が大きく増加しました。



8.各種リスクの割合

うつリスクが5.7%、閉じこもりリスク3.7%、低栄養リスクが2.8%増加しました。
転倒リスクは0.8%減少しました。

